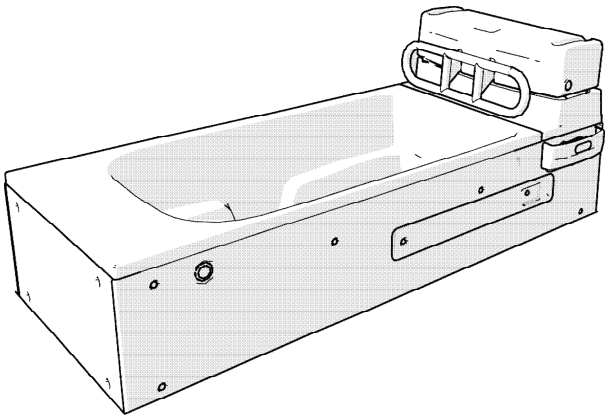
SAKAImed

Homey Ease

ホーミィ イース

LIT-700R／LIT-700L

取 扱 説 明 書



ご使用になる前に …… 4
- 安全上のご注意 …… 4
- 各部の名称 …… 8
- 組み合わせ …… 9
- 始業点検について …… 10

操作方法 …… 12
- 電源の入切 …… 12
- リフトの昇降 …… 13
- スライド操作 …… 15
- リモコン …… 17
- 排水栓の操作 …… 18
- お湯はり …… 19

入出浴作業 …… 20
- 直接入浴 …… 20
- 車椅子入浴 …… 22

日常のお手入れ …… 26
- 清掃 …… 26
- 薬液殺菌について …… 28

このようなときは …… 29
- 緊急時の脱出方法 …… 32

機器について …… 33
- 保守・点検について …… 33
- 保証とアフターサービス …… 34
- 仕様 …… 36

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は

・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

01-233③QZ

用 途

本製品は、当社のホーミィ イース専用『入浴用車椅子』（LTC-700）と組み合わせて使用することで、車椅子入浴の方も、直接入浴の方も支援することができる入浴装置です。

特 長

●幅広い身体レベルの方が入浴可能

立位でのまたぎを支援するアーム、座位でのまたぎを支援する移乗スペース、車椅子のまま入浴できるリフトをコンパクトに１台で実現しています。
直接入浴の方も、車椅子の方も安全に入浴できます。

●簡単操作

ながら操作をなくし、１つずつの操作で入浴が可能。さらに、入浴に必要な操作はスライドボタンと上昇・下降スイッチのみにしたことで、操作のミスを防ぎます。

●イージースライド方式を採用

入浴者の目線移動を最小にしたことでスライド時に安心感を与え、さらに、介助者の操作も直線的になり操作しやすくなっています。

●家庭のお風呂のようなデザイン

リフトを使用しないときは、リフト・リモコン等をすべて収納することができ、より“家庭のお風呂”に近づきました。

本書に記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

⃠ 禁止	行為を禁止することを示した表示です。
❗ 強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

その他の表示

お願い	製品を使用する上で留意していただくことを示した表示です。
参考	参考にしていただくことを示した表示です。

電源・給湯

⚠警告

電源の接続、及び修理は行わない

正しく接続しないと事故や故障の原因になります。

給湯水の接続、及び修理は行わない

正しく接続しないと水もれ等の事故や故障の原因になります。

循環金具等については、各々の製品に添付されている取扱説明書、及び本体の注意表示にそって使用する

正しく使用しないと思わぬ事故や故障の原因になります。

給湯やさし湯を行うときは、手で湯温を確認する

入浴中に高温の湯をさし湯するときは、入浴者の身体にかからないように注意してください。

循環金具を使用するときは、温度に注意する

入浴中に給湯や追い炊きをするときは、高温での給湯や追い炊きをしないでください。やけどの恐れがあります。

入浴する前に浴槽内の湯温を確認する

浴槽内の湯温を確認してから入浴してください。温度が高いとやけどの恐れがあります。

⚠注意

使用電圧は単相 100Ｖ ±5%の範囲内で使用する

使用電圧が指定範囲外の場合、機器の故障及び誤作動の原因となります。

リフトの昇降

⚠警告

リフト下降時の挟み込みに注意する

車椅子と浴槽底面の間に入浴者の手足が挟み込まれると、けがをする恐れがあります。

下降前にスライド部がロックされていることを確認する

・ 必ずロック位置まで移動させてください。一旦停止前にロックを解除すると、下降はできません。

・ 入浴者の安全確保のためロックが解除されていても上昇はできます。

⚠注意

リフト昇降時は、入浴者の状態に注意する

入浴者から目を離してしまうと落下等の恐れがあります。入浴者の状態を常に観察し、危険や異常を感じたらすぐに動作を停止させてください。

リフト下降時は、リモコンケーブルの挟み込みに注意する

リフト下降時に車椅子上部と下部の間にコードが入ったまま下降してしまうと、コードを挟み込み、機器の破損につながります。
洗い場側での下降時はコードの位置に注意してください。

スライド部の移動

⚠警告

アームサポートが下りていることを確認する

車椅子のアームサポートが跳ね上げられていると、入浴者が落下する恐れがあります。
必ず元に戻してから移動してください。

入浴者の足に注意する

レッグレストやセーフティカバーを用いて、浴槽縁にぶつからないようにしてください。

車椅子を浴槽内へ移動するときはゆっくり行う

入浴者を浴槽内に移動させるときは、入浴者の身体を支えてゆっくり行ってください。
急いで移動させると転倒などの原因になります。

押し込むときは、スライド部の挟み込みに注意する

スライド部の下には空間があります。手などが入り込んでしまうと挟み込み、けがをする恐れがあります。

⚠注意

押し込むときは、手の位置に注意する

浴槽内に押し込むときは、スライドボタンから手を離してください。
スライドボタンを押したままにすると、スライドロックがかかりません。

移動を中断して戻すときは、ロックに注意する

スライド部を途中で止めて、元の位置に戻したときに、スライドボタンが押し込まれたままロックが解除されていることがあります。その場合は、ボタンが戻る位置まで移動させてから元の位置に戻すようにしてください。ロックが解除されていると、お知らせランプが点滅しますが、30秒以上たつと消灯します。

直接入浴

⚠警告

入浴の向きに注意する

リフト側を背にして入浴すると、入浴者の身体がアームにぶつかり、けがをする恐れがあります。
リフトを背に入浴したい場合は、リフトを上昇させてください。

⚠注意

アームを使用する場合は、スライド部がロックされていることを確認する

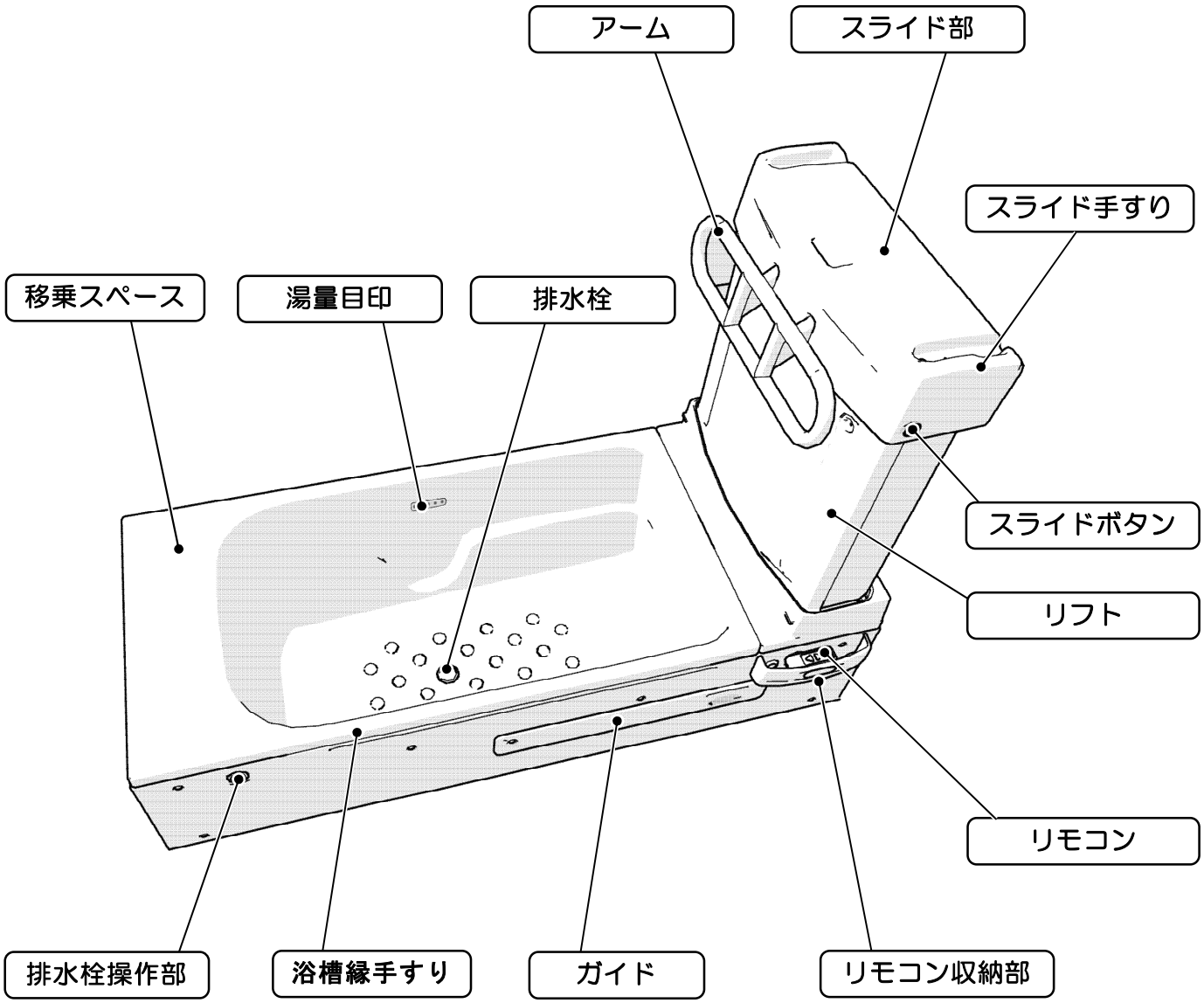
スライド部は、浴槽と洗い場の中間位置ではロックされません。アームを使用する場合は左右 2 か所のロック位置で使用してください。
ロックさせないまま使用すると、入浴者が転倒する恐れがあります。

入浴者の姿勢が安定していることを確認する（入浴者のそばから離れない）

本製品の浴槽は、車椅子入浴もできるように、浴槽の全幅・全長ともに長くなっています。
直接入浴の際は、水没等がないよう十分に注意してください。

ご使用になる前に

各部の名称



ご使用になる前に

組み合わせ

浴槽の種類

・浴槽　・・・・LIT-700R／LIT-700L

・ホーミィ イース用カバー　・・・・掘込仕様/据置仕様/ユニットバス仕様

周辺装置

・入浴用車椅子
セーフティカバー付き　・・・・LTC-700（RL 共通）

・足受けボード　・・・・BEQ-10

・ホーミィ イース専用　ユニットバス　・・・・LIT7-2222R／L
- ・ユニットバス寒冷地仕様　・・・・SUB-10
- ・給湯用水栓　・・・・SUB-20
- ・換気扇　・・・・SUB-30
- ・換気乾燥暖房機　・・・・SUB-40
- ・追い炊き循環金具セット　・・・・SUB-50

浴槽と入浴用車椅子を組み合わせて使用します。
操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。

①浴槽の周囲に障害物はありませんか？

②カバー・ガイドの外れ、ガタつき、
取付ネジの緩み、脱落はありませんか？

⑧スライドボタンは押し込んだ状態を保持しますか？

⑨移動はスムーズにできますか？

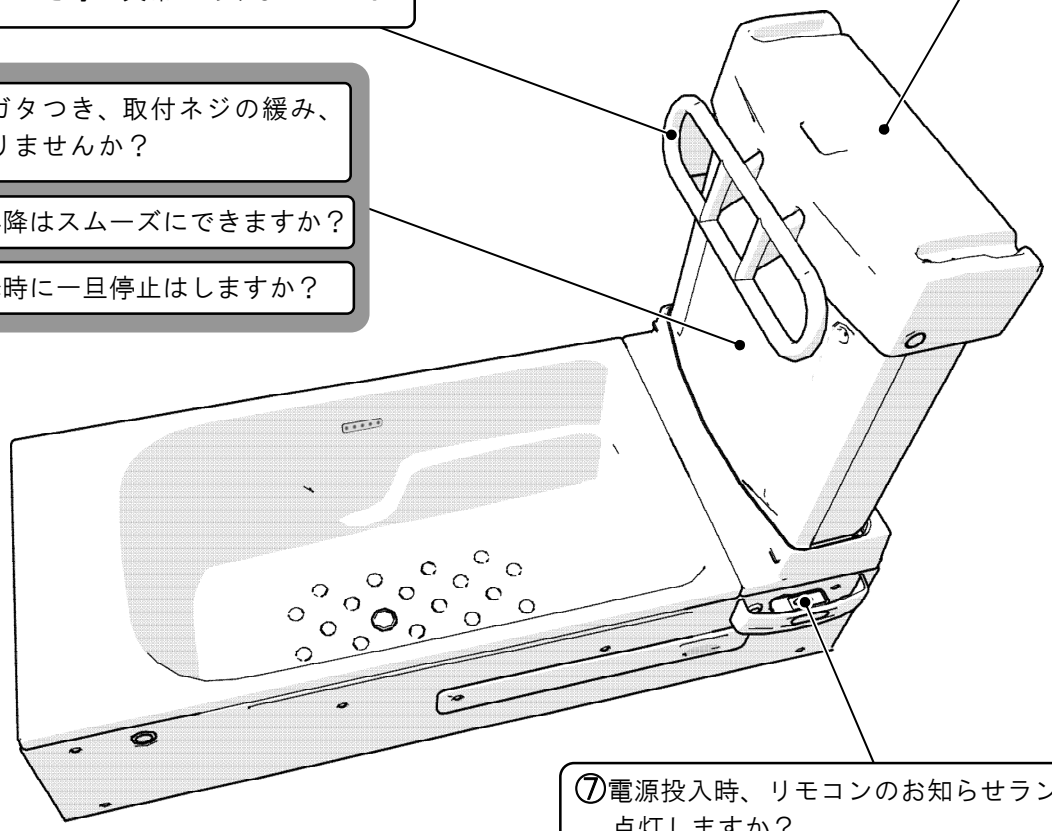
⑩浴槽側・洗い場側両方でスライドはロックされますか？

④アームにガタつき等の異常はありませんか？

③リフトのガタつき、取付ネジの緩み、脱落はありませんか？

⑪リフトの昇降はスムーズにできますか？

⑫リフト下降時に一旦停止はしますか？



⑦電源投入時、リモコンのお知らせランプは点灯しますか？

⑤排水口にごみはありませんか？

⑥排水操作は問題なくできますか？

⑬車椅子の懸架動作はスムーズにできますか？

⑭車椅子上部と下部の分離･合体動作はスムーズにできますか？

点検の際は、本ページをコピーしてご使用ください

始業点検項目：ホーミィ イース（LIT-700）　　点検日　　年　　月　　日

	項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
電源投入前	①	周囲の障害物の有無	目視	□ OK・□ NG	
	②	カバー・ガイドの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び触って確認	□ OK・□ NG	
	③	リフトのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び触って確認	□ OK・□ NG	
	④	アームのガタつき	目視 及び触って確認	□ OK・□ NG	
	⑤	排水口のごみの有無	目視	□ OK・□ NG	
	⑥	排水動作の確認	排水栓操作部を押して、排水栓が持ち上がることを確認	□ OK・□ NG	
電源投入後	⑦	リモコンのお知らせランプ	電源を入れたときにリモコンのお知らせランプが 5 秒間点灯することを確認	□ OK・□ NG	
	⑧	スライドボタンの動作	スライドボタンを押し込み、ロックが解除された状態で保持することを確認	□ OK・□ NG	
	⑨	スライド部の動作	リフトのスライド部がスムーズに動くことを確認	□ OK・□ NG	
	⑩	スライド部のロック	浴槽側・洗い場側ともスライド部がロックされることを確認	□ OK・□ NG	
	⑪	リフトの動作	・リモコンの上昇・下降スイッチを押して、リフトの動作に異常がないことを確認 ・上限でのお知らせランプ点灯を確認	□ OK・□ NG	
	⑫	リフト一旦停止動作	浴槽側・洗い場側とも、下降時に一旦停止することを確認	□ OK・□ NG	
	⑬	車椅子上部の懸架動作	リフトでの車椅子上部の懸架動作がスムーズにできることを確認	□ OK・□ NG	
	⑭	車椅子上部と下部の分離・合体動作	車椅子上部と下部の分離・合体動作がスムーズにできることを確認	□ OK・□ NG	

※リフトを使用しない場合も、始業点検項目①～⑩は必ず実施してください。

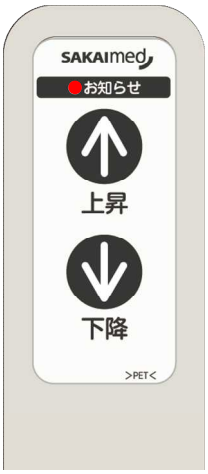
これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになっていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所までご連絡ください。なお、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

操作方法

電源の入切

電源を入れる

浴室外にある本製品専用のスイッチを ON にします。
スイッチを ON にすると、リモコンのお知らせランプが 5 秒間点灯します。



参考

リフトの昇降は電源が入っていないと動きませんが、
スライド部の操作と排水栓の操作は電源が入っていなくても可能です。
ただしスライド中のお知らせランプは点滅しません。

電源を切る

浴室外にある本製品専用のスイッチを OFF にします。

操作方法

リフトの昇降

リフトの昇降によって安全に負担なく入浴を行うことができます。

リフトを上げる

1. リモコンの上昇スイッチを押している間だけ、
リフトが上がります。

2. リフトが上限に達すると、お知らせランプが点灯します。

お知らせランプは、上限で上昇スイッチを押すと点灯します。
手を離しているときは点灯しません。

リフトを下げる

1. リモコンの下降スイッチを押している間だけ、リフトが下がります。

お願い

リフトを下降するときは、スライド部のロックを解除しないようにしてください。
２の一旦停止前にロックを解除すると、下降できません。

2. 下降スイッチを押し続けていても、安全確認のため一旦停止します。

停止位置で下降スイッチを押している間は、お知らせランプが点滅します。
入浴者の手や足の挟み込み等がないことをもう一度確認してから再度下降スイッチを押してください。

参考

リフト下降時にジーという音がすることがありますが、
機械の作動音ですので、異常ではありません。気にせずご使用ください。

お願い

リフトの性能を維持するため、使用後はリフトを下限まで下げてください。

⚠ 注意　・下降前にスライド部がロックされていることを確認する

- 必ずロック位置まで移動させてください。一旦停止前にロックを解除すると、下降はできません。
- 入浴者の安全確保のためロックが解除されていても上昇はできます。

・リモコンコードの挟み込みに注意する

リフト下降時に車椅子上部と下部の間にコードが入ったまま下降してしまうと、コードを挟み込み、機器の破損につながります。
洗い場側での下降時はコードの位置に注意してください。

・車椅子が浮くことがあります

入浴者がいない状態で車椅子をお風呂に沈めると、車椅子上部が浮くことがありますが、アームから外れることはありません。車椅子とスライド部のカバーの隙間に手などを挟み込むとけがをする恐れがありますので注意してください。

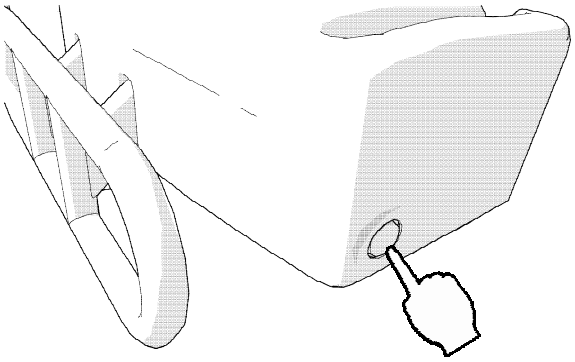
操作方法

スライド操作

引き出す（浴槽から洗い場への移動）

1. スライドボタンを押し込んで、ロックを解除します。

スライドボタンは手を離した後も押し込んだ状態を保持します。



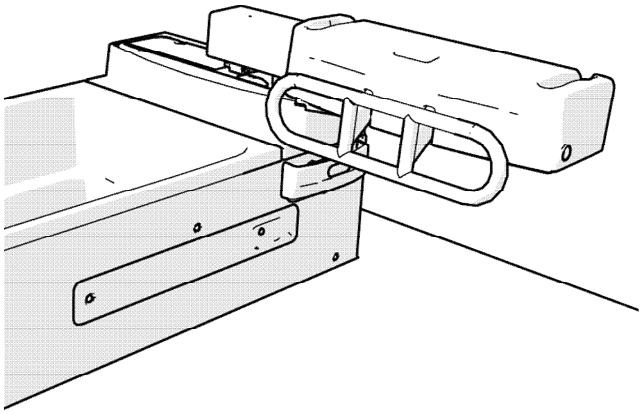
2. アームやスライド手すり等を持って洗い場側へ引き出します。

スライド部のロックが解除されているときは、リモコンのお知らせランプが点滅しています。完全に引き出して、お知らせランプが消灯し、ロックがかかったことを確認してください。

ただし、お知らせランプは、ロックを解除して 30 秒以上たつと消灯します。

参考

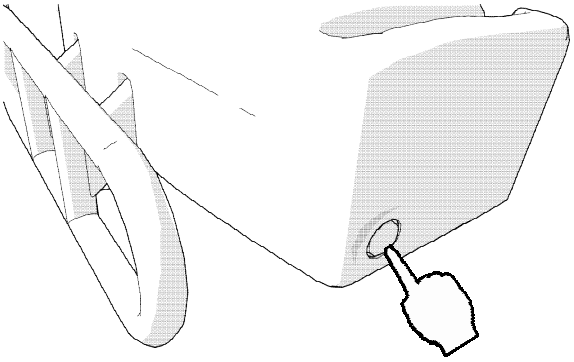
お知らせランプは、30 秒以上ロックを解除していると消灯しますが、リモコンのスイッチを押すと再び点滅します。



押し込む（洗い場から浴槽への移動）

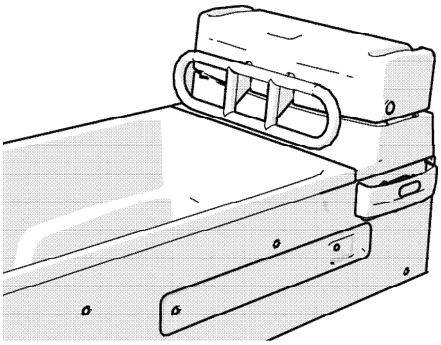
1. スライドボタンを押し込んで、ロックを解除します。

スライドボタンは手を離した後も
押し込んだ状態を保持します。



2. アームやスライド手すり等を持って浴槽内へ押し込みます。

入浴者の足が浴槽縁と車椅子との間に挟み込まないように注意してください。
押し込むときに、介助者はスライド部の下側に手を入れないでください。
スライド部のロックが解除されているときは、
リモコンのお知らせランプが点滅しています。
奥まで押し込んで、お知らせランプが消灯し、
ロックがかかったことを確認してください。



お願い

スライド部の性能を維持するため、浴室を使用したときは、
車椅子入浴を行わない場合でも、スライド部の移動操作を 1 往復行ってください。

⚠ **警告　・押し込むときは、スライド部の下を持たないようにし、挟み込みに注意する**

スライド部の下には空間があります。手などが入り込んでしまうと挟み込んで、けがをする恐れがあります。スライド部のカバー下を持たないようにしてください。

⚠ **注意　・押し込むときは、手の位置に注意する**

スライドボタンを押したままにすると、スライドロックがかかりません。必ず一度手を離してください。

・移動を中断して戻すときは、ロックに注意する

スライド部を途中で止めて、元の位置に戻したときに、スライドボタンが押し込まれたままロックが解除されていることがあります。その場合は、ボタンが戻る位置まで移動させてから元の位置に戻すようにしてください。ロックが解除されていると、お知らせランプが点滅しますが、30 秒以上たつと消灯します。

操作方法

リモコン

上昇・下降スイッチ

リモコンには上昇・下降スイッチがあります。押している間だけリフトが動きますので、昇降を停止したいときは、スイッチから手を離してください。

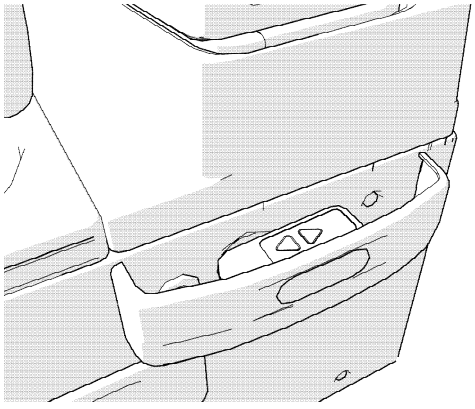
お知らせランプの点灯・点滅

リモコンにはリフトの状態や異常をお知らせするランプがついています。
一連の操作を終えても点灯・点滅が続く場合は、このようなときは(P.30)をご確認ください。

ランプ	状態	条件
5 秒間点灯	電源（スイッチ）を入れたとき	
点灯	リフト上限	スイッチを押している間だけ点灯
	リフト下降　不可	
	リフト昇降不可（水没異常）	排水が完了すれば自然復帰します。
点滅	スライドロック解除時	30 秒以上経過すると自然消灯 ※一度消灯しても、リモコンのスイッチを押すと点滅を再開します。
	リフト下降　一時停止	スイッチを押している間だけ点滅
	上記以外	このようなときは(P.30)をご確認ください。 最寄りの営業所までご連絡ください。

リモコンの収納

リフトを使用しない場合や、リモコンが邪魔になる場合は
リモコン収納部に収納することができます。
リモコン収納部のカバーはネジを外すと取り外せます。

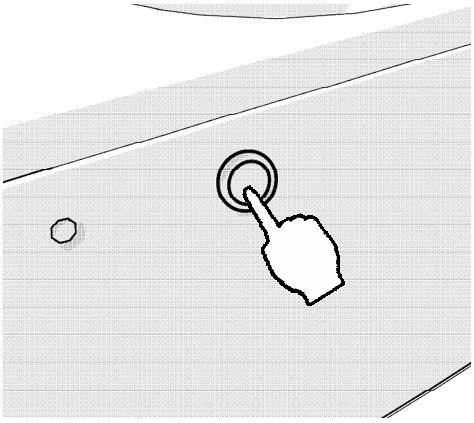


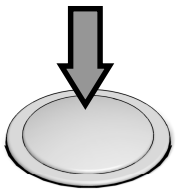
操作方法

排水栓の操作

お湯をはる（排水栓を閉じる）

浴槽内の湯量目印までお湯をはります。
排水栓操作部を押し、排水栓が下がっている状態にします。



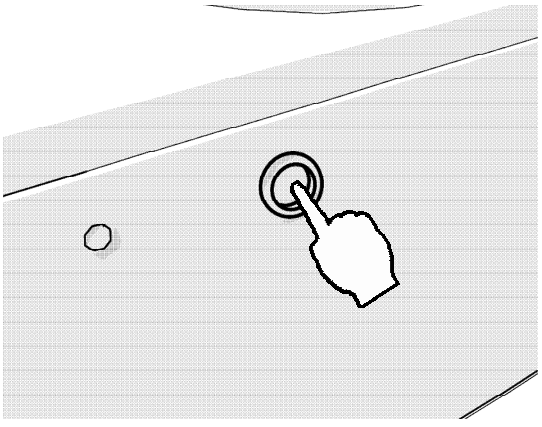


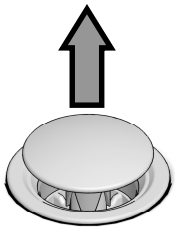
お湯を排水する（排水栓を開く）

排水栓操作部を押し込み、排水栓が上がっている状態にします。
排水栓が開き、浴槽内の湯が排水します。

お願い

排水栓の上に入浴者の手足がないことを確認してください。



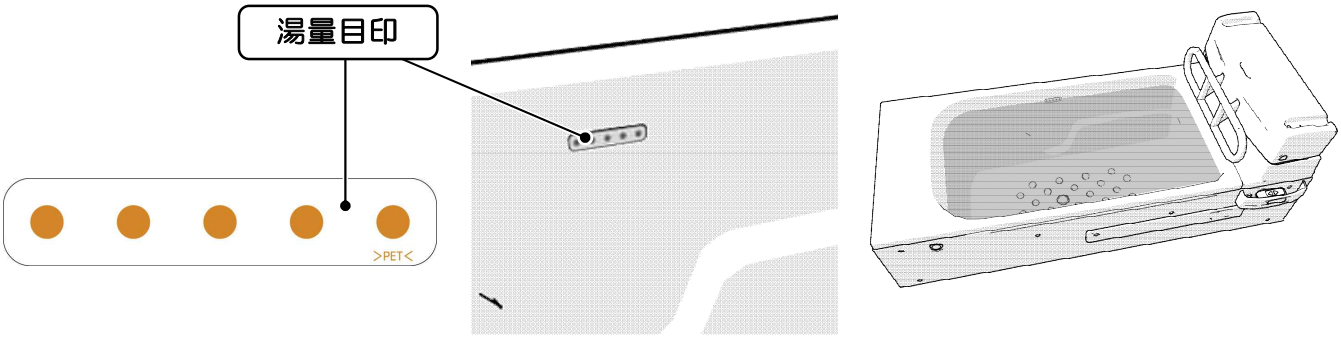


操作方法

お湯はり

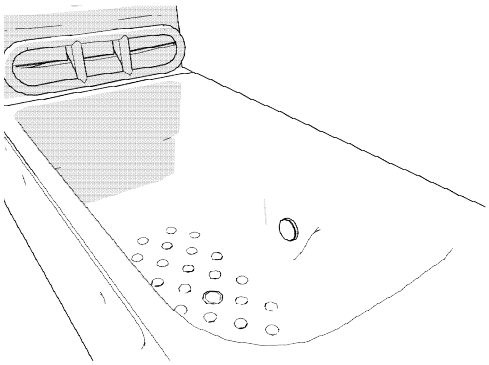
湯量目印

入浴前に、循環金具や給湯カランから湯量目印まで給湯します。お湯の量は目安ですので、入浴者の身長や体格に応じた湯量にしてください。



循環金具

循環金具の給湯口は浴槽の横にあります。入浴者の身長や姿勢によっては足の位置が近くなることがありますので、入浴中に給湯、追い炊きをするときは、足の位置に注意してください。



⚠警告　・給湯や差し湯を行うときは、手で湯温を確認する

入浴中に高温の湯を差し湯するときは、入浴者の身体にかからないように注意してください。

・循環金具を使用するときは、温度に注意する

入浴中に給湯や追い炊きをするときは、高温での給湯や追い炊きをしないでください。やけどの恐れがあります。

入出浴作業

直接入浴

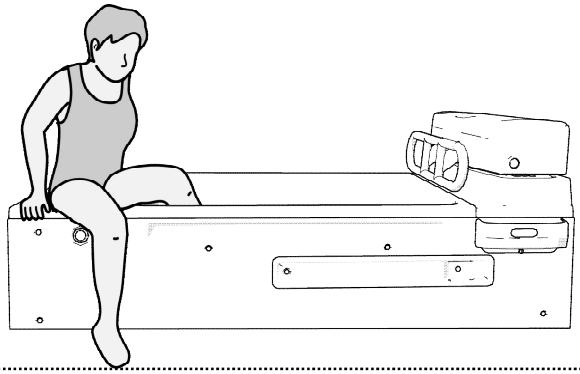
リフトを使わずに直接入浴する方法には、移乗スペースに腰掛けて入浴する方法と、
アームを利用し立ったまま浴槽をまたいで入浴する方法があります。

移乗スペースを利用して入浴する

1. 入浴者の身長や体格に合わせて、湯量の調節をします。

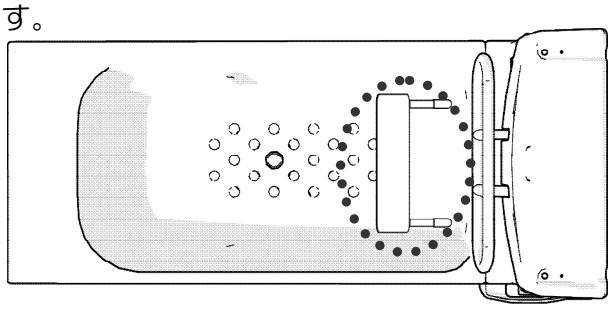
2. 移乗スペースに腰掛けます。

3. 浴室壁面の手すりや、浴槽縁を握って片足ずつまたぎ、浴槽内へ入ります。



4. 必要に応じて足受けボード（オプション）を使用します。

※足受けボードは、リフト側のみ設置できます。



> **⚠警告　入浴する前に浴槽内の湯温を確認する**
>
> 浴槽内の湯温を確認してから入浴してください。温度が高いとやけどの恐れがあります。

入出浴作業／直接入浴

アームを利用して入浴する

1. 入浴者の身長や体格に合わせて、湯量の調節をします。

2. 入浴者に合わせてアームの高さを調節します。

リフトを昇降することで、アームの高さを自由に設定できます。

3. アームを持ち、立ったまま、またいで入浴します。

4. 必要に応じて足受けボード（オプション）を使用します。

⚠ **警告　直接入浴時は入浴の向きに注意する**

リフト側を背にして入浴すると、アームに頭等を打ち、けがをする恐れがあります。
リフトを背に入浴したい場合は、リフトを上昇させてください。

⚠ **注意　・アームを使用する場合は、スライド部がロックされていることを確認する**

スライド部は左右 2 か所でロックされます。浴槽と洗い場の中間位置ではロックされませんので、使用しないでください。入浴者が転倒する恐れがあります。

・入浴者の姿勢が安定していることを確認する（入浴者から離れない）

本製品の浴槽は、車椅子入浴もできるように、浴槽の全幅・全長ともに長くなっています。直接入浴の際は、水没等がないよう十分に注意してください。

・アームを持った状態でリフトを昇降させない

入浴者がアームを持っているときに、リフトを昇降させてしまうと、バランスを崩して転倒する恐れがあります。

入出浴作業

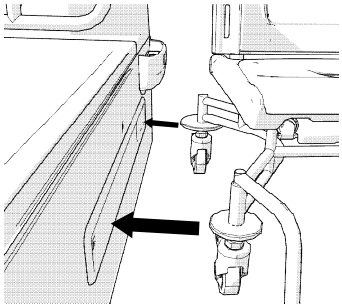
車椅子入浴

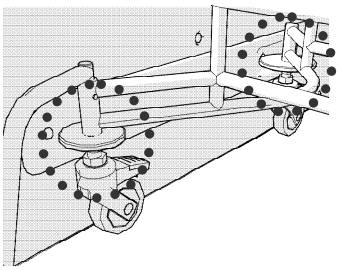
ホーミィ イース専用入浴用車椅子(LTC-700)と組み合わせることで安全なリフト入浴が可能になります。車椅子への移乗や洗身・洗髪については、入浴用車椅子(LTC-700)の取扱説明書（P.17～）をご覧ください。

入浴操作

1. 車椅子と浴槽の位置を合わせます。

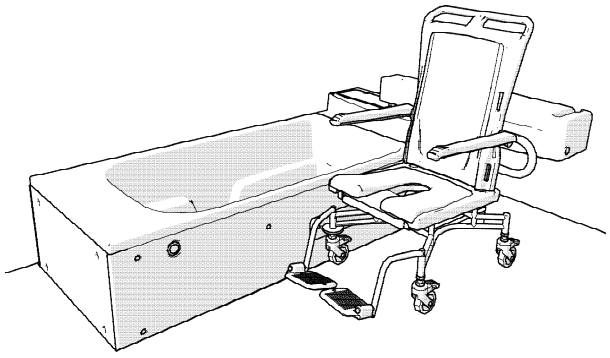
浴槽側面のガイドのへこみ位置を目安に車椅子のガイド円板を浴槽に押し当て、キャスターロックペダルを踏んでキャスターをロックしてください。





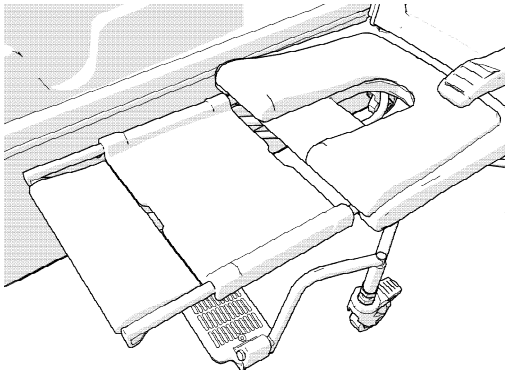
2. スライドボタンを押し込んで、ロックを解除し、スライド部を洗い場側に引き出します。

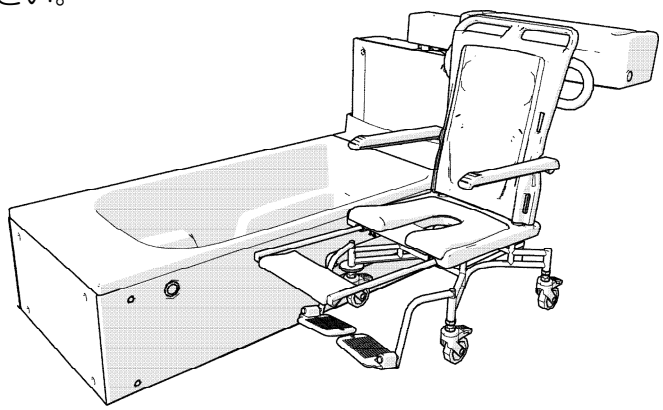
車椅子の位置を再度確認してください。



3. 車椅子のレッグレスト（入浴用）を引き出します。

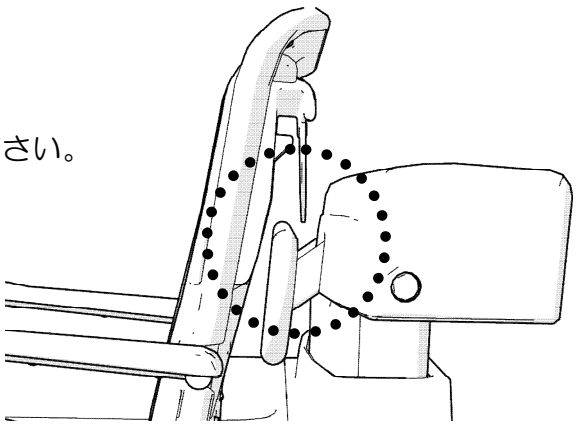
車椅子上部と下部のロックを兼ねていますので、レッグレストを使用しない場合も、レッグレスト全体が見えるまで引き出してください。入浴者の足元が不安な場合には、セーフティカバーも合わせてご使用ください。





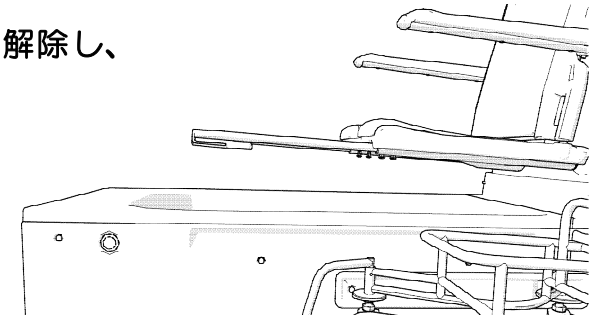
4. リフトを上限まで上げます。

アームと懸架部との挟み込みに注意してください。



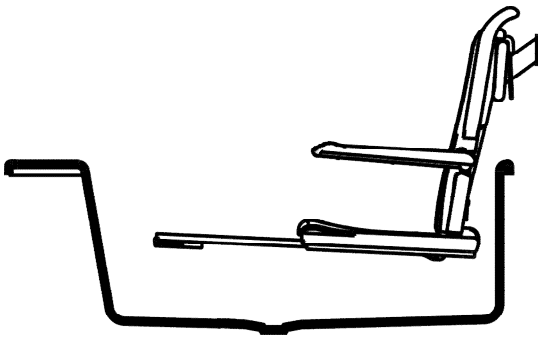
5. スライドボタンを押し込んで、ロックを解除し、スライド部を浴槽内に押し込みます。

入浴者の状態や足元に注意してください。

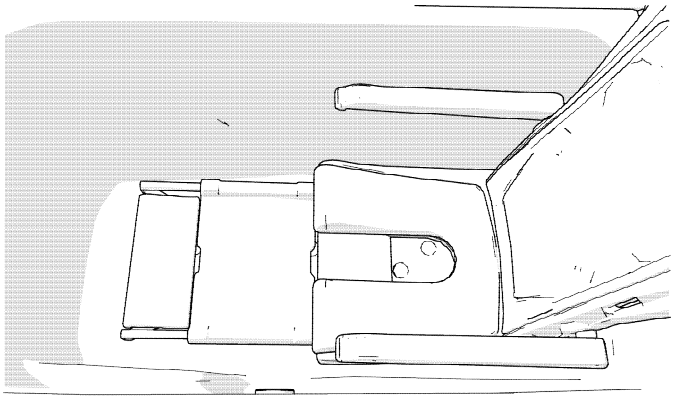


6. リフトを下げます。

下降スイッチを押している間だけ下降し、途中で一旦停止します。
挟み込み等を確認してから、再度下降スイッチを押してください。



浴槽底面から約 210㎜ 上で
一旦停止



⚠ 注意　リフトを上昇させる前に必ずレッグレストを引き出す

レッグレストが車椅子上部と下部のロックを兼ねています。レッグレストを使用しないで入浴する場合も、レッグレスト全体が見えるまで引き出してください。引き出さないままリフトを上昇させると、車椅子下部を一緒に懸架してしまい、機器の破損につながります。

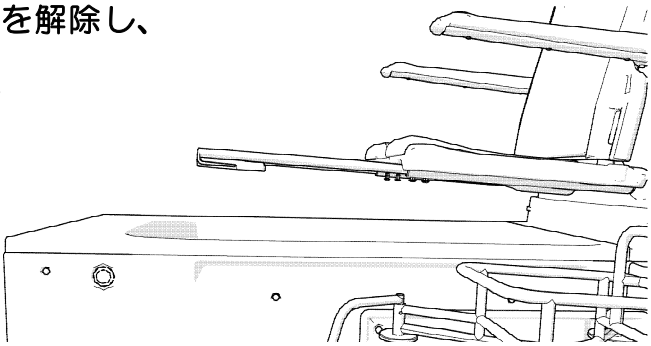
入出浴作業／車椅子入浴

出浴操作

1. リフトを上限まで上げます。

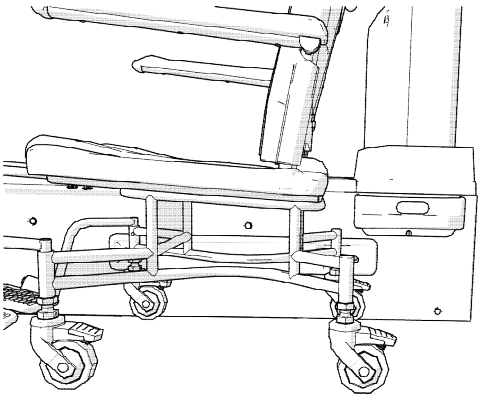
2. スライドボタンを押し込んで、ロックを解除し、
スライド部を洗い場側に引き出します。

入浴者の状態や足元に注意してください。



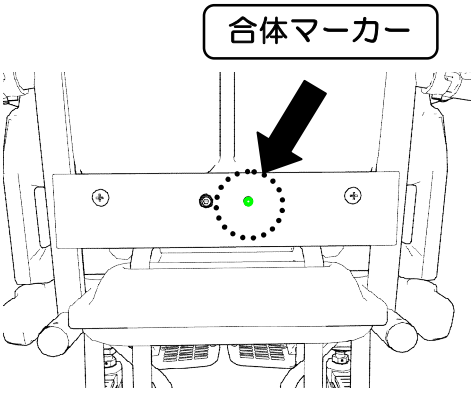
3. リフトを下げます。

車椅子下部のガイド円板とガイドの位置が合っていることを確認してください。
下降の途中で一旦停止します、挟み込みや車椅子下部の位置を確認してから、再度下降スイッチを押してください。



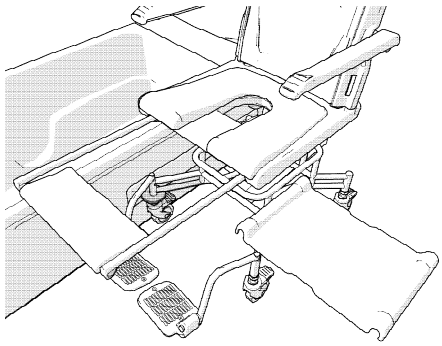
4. 合体マーカーを確認します。

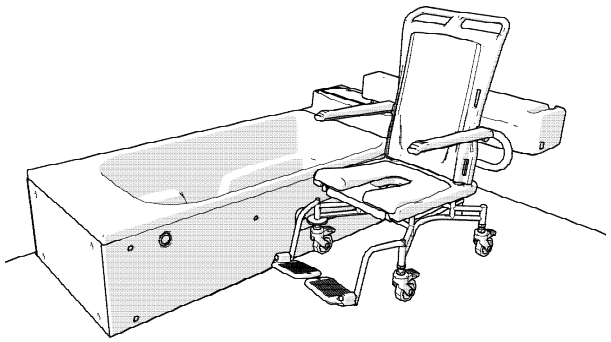
車椅子上部と下部が正常に合体できているときは車椅子後ろの穴から緑色の合体マーカーが見えます。



4. レッグレストを元に戻します。

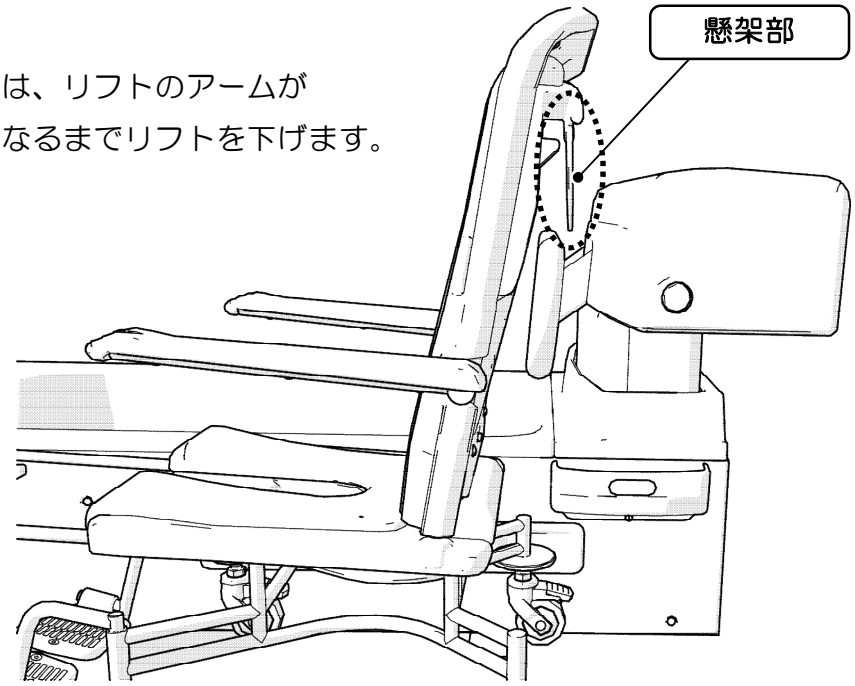
セーフティカバーを使用している場合は先に取り外してください。車椅子上部と下部のロックを兼ねていますので、必ずレッグレストを元に戻してから移動してください。





5. 車椅子を移動します。

車椅子を移動させるためには、リフトのアームが
車椅子の懸架部よりも下になるまでリフトを下げます。



⚠ 注意　リフトを下降させる前に必ずレッグレストを引き出す

レッグレストが車椅子上部と下部のロックを兼ねています。レッグレストを使用しないで入浴した場合も、レッグレスト全体が見えるまで引き出してください。

引き出さないままリフトを下降させると車椅子上部と下部が正常に合体できず、機器の破損につながります。

日常のお手入れ

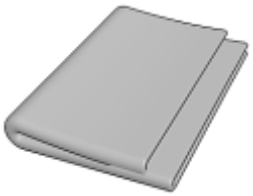
清掃

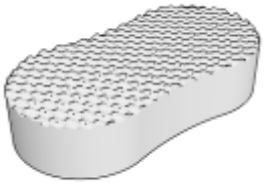
1日の入浴作業終了後は、下記の方法で清掃を行ってください。

浴槽・アーム

1. やわらかい布、または、やわらかいスポンジに浴室用洗剤を含ませ、汚れを落とします。

推奨品：酒井医療㈱「浴槽クリーナーA」





お願い

・洗剤をかけたまま放置しないでください。

・強くこすらないでください。きずの原因になります。

> ⚠注意
>
> **・タワシやブラシは使わない**
>
> **・研磨材がついたスポンジや、ネットに包まれたスポンジは使わない**

2. 浴槽やアームについている泡をシャワーで十分洗い流します。

お願い

・泡が残っているとかびが発生しやすくなります。

・お湯で洗い流した場合、最後は水で洗い流してください。

3. 乾いた布で水滴を軽く拭き取ります。

お願い

・水滴を残すと水垢などが残り、くすみの原因となります。

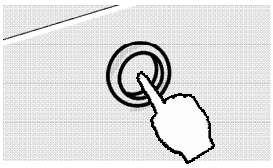
> ⚠ **注意**　**使用後は、換気を行い浴室内の温度・湿度を下げる**
>
> 湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

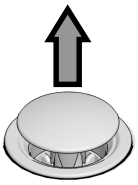
日常のお手入れ

排水栓

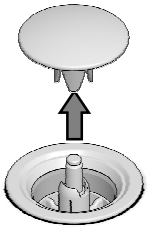
ごみなどが付着すると、排水栓が閉まりにくくなり、お湯がぬけることがあります。

1. 排水栓操作部を押し、排水栓を開きます。





2. 排水栓のフタを引っ張って、取り外します。



3. 排水栓操作部、排水栓内、排水栓のフタの清掃を行います。

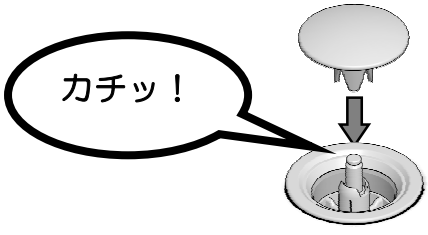
髪の毛を取り、ぬめり等を洗い流してください。
清掃に洗剤を使用したあとは、十分洗い流してください。

お願い

・排水栓フタのゴムパッキンが劣化した場合は、部品を交換してください。

4. 排水栓のフタを元の位置に取り付けます。

排水栓とフタの中心を合わせ、「カチッ」と
音がするまで押し込んでください。
※装着後、排水栓操作部を操作し、
　排水栓が正しく動くかを確認してください。



日常のお手入れ

薬液殺菌について

本浴槽、及び車椅子上部を殺菌する場合は、下記の手順で行ってください。

●濃度約 1ppm の薬液を浴槽に満たして、浴槽内と車椅子上部を殺菌します。
●毎日の入浴作業終了後に清掃と合わせて行うことをお勧めします。

作業手順	備考
①車椅子上部をセットし、リフトを下限まで下げる。	浴槽のみを殺菌する場合は、次の手順に進んでください。
②浴槽内へ水（湯）を追加する。	満水近くまで水（湯）を入れてください。
③**６％の次亜塩素酸ナトリウム**を適量（下記参照）浴槽へ投入する。 浴槽のみ　　：9mℓ（湯量 385ℓ） 浴槽+車椅子上部　：8mℓ（湯量 350ℓ）	適正水位の湯量に対して、約 1ppm の濃度になります。ー当社推奨値ー 参考　ピューラックス（推奨品） 600mℓのボトル キャップ 1 杯約 6mℓ 1800mℓのボトル キャップ 1 杯約 10mℓ **機体に原液が直接かからないように注意してください。**
③水（湯）をよく撹拌する。	
④ 3 分程度放置する。	
⑤リフトを上げる。	
⑥排水する。	排水操作部を押してください。
⑦浴槽と車椅子上部をシャワーで水洗いする。	薬液をよく洗い落とします。
⑧乾拭きする。	
⑨室内を換気する。	

薬液の原液には、次亜塩素酸ナトリウム６%溶液を使用してください。
他の薬液を使用する、あるいは他の溶液と混ぜて使用しないでください。
（P.35 の推奨品についてもご覧ください）

⚠ **危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置かない、一緒に用いない**
人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

⚠ **注意　次亜塩素酸ナトリウムの原液を車椅子やカバー類に直接かけない**
変色、破損の原因になる恐れがあります。

このようなときは

まずは次の内容を確認いただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
昇降	リフトが動作しない	●**電源は入っていますか？** →電源を入れてください。	P.12
		●**お知らせランプが点灯していませんか？** →機器の内部が水没しています。排水が完了すると復帰します。頻発する場合は、排水側溝及び排水口の目皿を掃除してください。	P.17
	リフトが上昇しない	●**リフトの上限ではありませんか？** →リフトの上限では、上昇スイッチを押すと、お知らせランプが点灯します。	P.13
	リフトが下降しない	●**スライド部はロックされていますか？** →端までしっかりと移動してロックをかけてください。	P.14
		●**下降中の一旦停止位置ではありませんか？** →下降時は挟み込み等を防止するために、下降が自動的に一旦停止します。 スイッチから指を離し、再度スイッチを押してください。	P.14
	上昇時に機械音がする	●**機械の動作音です。異常ではありません。** →明らかに音が大きくなった場合や気になる場合は、最寄りの営業所にご相談ください。	
	下降時にジーという音がする	●**機械の動作音です。異常ではありません。** →明らかに音が大きくなった場合や気になる場合は、最寄りの営業所までご相談ください。	P.14
スライド	スライド部が移動できない	●**スライドボタンは解除されていますか？** →スライドボタンをしっかりと押し込み、押し込んだ状態のまま保持していることを確認してください。	P.15
		●**車椅子が浴槽と接触していませんか？** →リフトを上限まで上昇させてください。	

このようなときは

お知らせランプ

このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
リモコンのお知らせランプが点灯している	●**電源を入れたばかりではありませんか？** →電源を入れると 5 秒間お知らせランプが点灯します。	P.12
	●**排水口は詰まっていませんか？** →機器が水没している可能性があります。排水側溝と排水口の目皿を掃除してください。 それでも改善しない場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	P.17
リモコンのお知らせランプが点滅（１回）している	●**スライド部はロックされていますか？** →端までしっかりと移動してロックをかけてください。	P.14 P.15
	●**下降中の一旦停止位置ではありませんか？** →スイッチから指を離し、再度スイッチを押してください。	P.13
	●**排水口は詰まっていませんか？** →機器の内部が繰り返し水没している可能性があります。 機器の点検を推奨します。最寄りの営業所までご連絡ください。	P.17
リモコンのお知らせランプが点滅（２回）している	●**リモコンの異常を検知しました** →最寄りの営業所までご連絡ください。	
リモコンのお知らせランプが点滅（３回）している	●**リフト昇降時間の異常を検知しました** →リモコンの上昇スイッチと下降スイッチを同時に押すと解除できます。 頻繁に発生する場合は最寄りの営業所までご連絡ください。	

このようなときは

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
車椅子の懸架	車椅子が懸架できない	●車椅子のガイド円板とガイドの位置はあっていますか？ →ガイドに車椅子のガイド円板を押し当てて、キャスターをロックしてください。	P.22
		●リフトを上昇させていますか？ →リフトを上昇させて、車椅子を懸架してください。	P.23
		●レッグレストは引き出していますか？ →車椅子上部と下部が分離せず懸架できません。レッグレスト全体がみえるまで引き出してください。	P.22
車椅子の合体	車椅子が合体できない	●レッグレストは引き出していますか？ →レッグレストを引き出さずにリフトを下げると上手く合体できずに車椅子上部はうしろに傾きます。機器の破損にもつながりますので、必ず引き出してください。	P.22 P.24
		●車椅子下部の位置は合っていますか？ →車椅子下部の位置が大幅にずれていると合体できません。車椅子のガイド円板と浴槽のガイドの位置を再度確認してください。	P.22 P.24
排水	排水できない	●排水栓は開いていますか？ →排水栓操作部を押し、排水してください。	P.18
	排水が遅い	●排水栓に髪やごみが付着していませんか？ →排水栓のごみを取り除いてください。	P.27

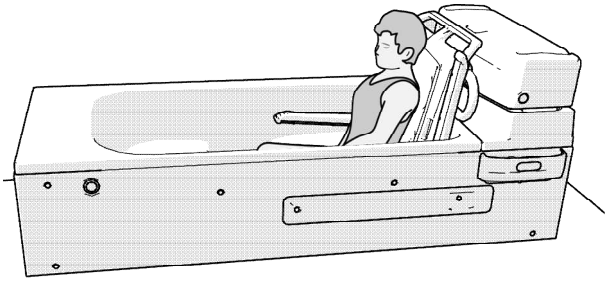
- その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所までご相談ください。
- ご使用中、万一故障が発生した場合、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、本製品の使用を中止して最寄りの営業所までご連絡ください。

このようなときは

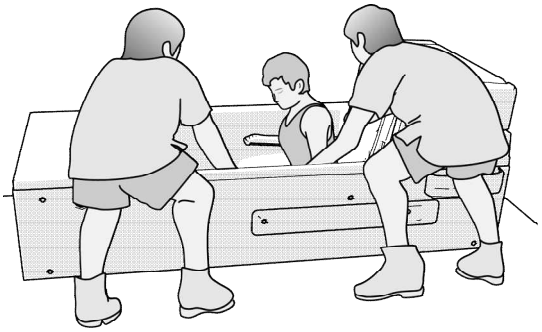
緊急時の脱出方法

入浴中の停電や故障時には、リフトの昇降ができない可能性があります。
その場合、下記の手順で入浴者を脱出させてください。また入浴者を脱出させるときは、
必ず介助者２人で行ってください。

1. 安全ベルト、車椅子下部を外します。
アームサポートを跳ね上げます。



2. 入浴者に前傾になってもらい、１人は背中から右図のように抱え、もう１人は足を抱えます。



3. ２人で抱えて持ち上げ、浴槽外へ脱出させます。

参考

- 停電中でもスライド部の移動、排水栓の操作は可能です。お知らせランプは機能しません。
- 懸架されている車椅子の高さが、浴槽の縁を越えていれば洗い場側へ引き出してから脱出することもできます。
- 車椅子上部は持ち上げても、アームから外すことはできませんので、無理に外そうとしないでください。

機器について

保守・点検について

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が下記の点検項目にもとづき、必ず P.10 の始業点検（日常点検）及び定期点検（月 1 回程度）を実施してください。
・リフト及びスライド部の性能を維持するため、指定の頻度で保守作業を行ってください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● リフト・スライド部の保守

リフト・スライド部の性能を維持するため、以下の保守作業を行ってください。

対象箇所	実施日	作業内容
リフト	・リフトを使用した日	・使用後は、リフトを下限まで下げる。
スライド部	・浴室を使用した日	・スライド部の移動操作を 1 往復行う。

● 定期点検項目　（月に 1 回程度、以下の定期点検を行ってください。）

区分	点検内容	点検方法
設備	・グレーチングのごみの有無と排水の流れの状態	・目視（ごみがあれば除去し清掃する）
外観	・排水配管からの漏れ	・浴槽下を覗いて、床に漏れた跡がないことを確認（据置仕様の場合）

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

機器について

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

・保証書（別添）は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
・保証期間は 1 年です。ただし本体フレーム及び FRP 部品は 5 年間です。保証の規定に
つきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

・修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。
機種名　　：　*LIT-700R,LIT-700L*
お買い上げ：　　年　月　日
故障状況(できるだけ詳細に)
住所，氏名，電話番号
・メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解したりしないで
ください。

耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合。

消耗品（使用により、量などが減少していくもの）

浴槽クリーナーA

補充は、お客様により実施願います。

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約 2 年**のもの。

作動油

・正常な使用において、交換の目安が**約 3 年**のもの。

排水ホース
油圧ホース

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。
点検して必要により有償交換いたします。

推奨品（P.28 の薬液殺菌について推奨する製品）

ピューラックス　濃度 6 %

（次亜塩素酸ナトリウム 6 %溶液）

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕様

型　　式		LIT-700R／LIT-700L
外形寸法		1900(L)×863～1500 (W)×900～1490 (H)mm
浴槽内寸法		1285(L)×690(W)×490(H)mm
湯　　量		約 385 リットル
実使用湯量		約 300 リットル（入浴者：165cm、65 kg）
質　　量		約 240 kg
最大使用者体重		100 kg
電　　源		単相 100Ｖ　50Hz/60Hz
電　　力		315W(50Hz)/ 390W(60Hz) （電源入力：345VA(50Hz)/ 400VA(60Hz)）
材質	アーム	ステンレス
	浴槽	FRP
リフト	スライド量	700 mm
	昇降ストローク	590 mm
	昇降方式	油圧式
付属品		浴槽クリーナーA、アワスプレー

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。